



The “mokusho-juku”
in Miyama
report on the activity

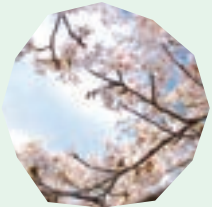
美山木匠塾
活動報告書
2025



美山木匠塾
Facebook

活動地域の概要

美山町 —大野—



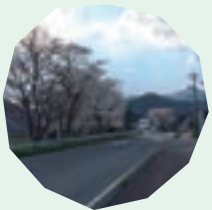
美しい四季

豊かな自然に囲まれ、春は桜祭り、秋はもみじ祭りが開催されます。6月頃にはホタルが観察できます。



野々村仁清生誕の地

日本の名陶工、京焼きの祖である野々村仁清の生家と伝えられる住居が今も残されています。



自転車のまち

地区を通る府道12号線はバイクや自転車のツーリングコースとして人気です。



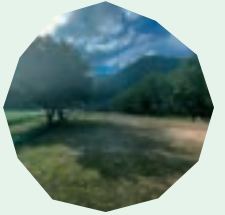
北山丸太

大野は北山丸太の生産地でした。今でも田園と由良川、山々に囲まれた豊かな自然の下で、生活が営まれています。

美山町 —鶴ヶ岡棚—

西の鯖街道が有名！

西の鯖街道が通る美山町鶴ヶ岡棚は、鯖のなれ寿司を作る風習がありました。山々に囲まれ、田園風景が広がる盆地に棚野川が流れており、のどかな生活が営まれています。



木匠塾と美山木匠塾

木匠塾は1991年に岐阜県高根村で始まった、建築学生が木について学ぶ活動です。間伐材等を使ったものづくりや木や林業についての学習、山間部での活動などを通して、将来の建築業界を担う学生たちが木の大切さを学びます。

奈良県川上村、岐阜県加子母村、そして京都府美山など、現在では様々な場所に活動が広がっています。



美山木匠塾は地域に密着した活動が特徴です。良いデザインをするため、地域のイベントへの参加、地域のお宅へのホームステイやインタビューなどを積極的に行い、地域との交流を大事にしています。







KYOTO

目次

- 活動地域の概要 P2
- 木匠塾と美山木匠塾 P3
- 活動記録
 - 4月 新入生入部 P5
 - 5/6 バス停標識の設置、
だいしぜんのみちの看板修繕in大野 P5
 - 9/16 現地ヒアリングin鶴ヶ岡棚 P6
 - 10/19 第一回プレゼンin鶴ヶ岡棚 P7
 - 11/15 第二回プレゼンin鶴ヶ岡棚 P8
 - 2/1,2/2 木のクッションの試作in長岡造形大学 P9
 - 2/20 - 2/22 制作in京都府立大学木工室 P10-15
 - 2/23 日本橋の家の見学in大阪難波 P16
 - 2/27 引き渡しin鶴ヶ岡棚 P17
- 制作物の概要 P18-19
- コメント、総括 P20-23

12年間、美山町大野で活動させていただいていましたが、今年度は鶴ヶ岡棚から依頼をいただきました。活動は昨年度に制作した美山町大野のバス停標識の設置から始まります。

活動記録

- 4月 新入生入部
京都府立大学1年生が1人入部しました。
- 5/5 事前準備
参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海,
堀野琢次,宮越琴里
5/6の活動のための事前準備として、新しく入った1年生に道具の使い方を教えました。
- 5/6 バス停標識の設置、
だいしぜんのみちの看板修繕in大野
参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海,堀野琢次,宮越琴里
 - 11:00 京都府立大学集合
 - 12:30 美山大野到着・昼ご飯
 - 13:00 作業開始大野の方々に見守られながら、2025年2/5に完成したバス停標識の設置と、獣害に遭っただいしぜんのみちの看板の修繕が完了しました。
- 15:00 作業完了
- 15:30 美山かやぶきの里 見学
- 18:00 解散

9月上旬に活動場所が決定するまでは、十二年の軌跡リーフレットの制作、自由制作活動を行いました。

7/30 総合資格学院の取材を受ける

参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海



9/16 現地ヒアリングin鶴ヶ岡棚

参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海,江角眺太郎

12:30 京都府立大学へ集合

14:00 現地ヒアリングin鶴ヶ岡棚



鶴ヶ岡棚からゲートボール場の小屋の中で使用するイスの制作依頼を頂き、現地調査とヒアリングを行いました。イスは、箱の上に一枚の板が乗っている状況でした。お花見をするために外に出すこともあるようです。

15:30 バス停標識の現状確認in美山町大野

バス停標識の様子を確認しに大野へ移動しました。地域の方々が植えてくださった花々に囲まれていました。「使いやすい」「かわいらしい」という声があったとのことで安心しました。



ヒアリング時のメモを書き出し、ゲートボール場を「よりリラックスできる空間にする」ことを目標に、提案を考え始めました。



10/19 第一回プレゼンin鶴ヶ岡棚

参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海,堀野琢次,江角眺太郎(オンライン参加)

12:20 京都府立大学木工室集合

14:00 プレゼン開始

前回のヒアリングをもとに、4つのベンチを提案しました。



- ① シンプルなベンチ
 - ② への字型ベンチ
 - ③ 六角形型ベンチ
 - ④ 湾曲座面ベンチ
- 地域の方々と話し合い、
①、③の案で決定しました。

14:45 地域の方と初めてグラウンドゴルフをする



18:00 ご飯会in京都駅前飲食店

長岡造形大学はシンプルなベンチ、
京都府立大学は六角形型イスを設計
することになり、次のプレゼンに向
けて模型を制作しました。



11/15 第二回プレゼンin鶴ヶ岡棚

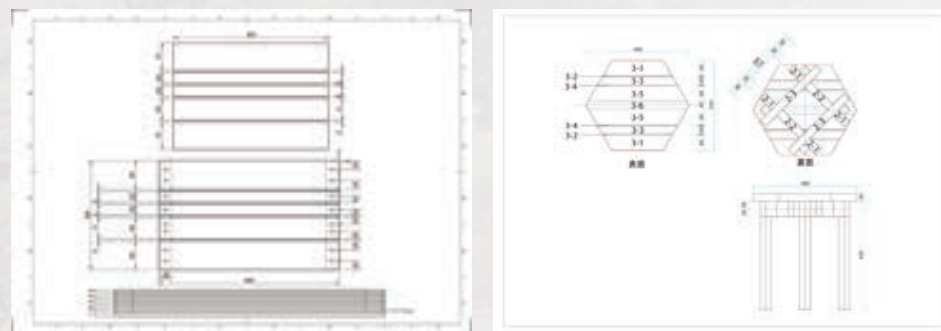
参加者：大塚彩花, 中村桜誓, 澤井青海, 堀野琢次, 江角暁太郎

12:30 京都府立大学木工室前集合

14:00 第二回プレゼンin鶴ヶ岡棚

模型を用いて地域の方々と話し合い、シンプルなベンチ（2人掛け）×2
脚と六角形型イス（1人掛け）×2脚を制作することが決まりました。そ
の後、再びグラウンドゴルフを楽しみました。

必要な部材を計算し、図面制作に取り掛かり始めました。



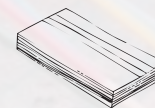
2/1,2/2 木のクッション試作in長岡造形大学

参加者：中村桜誓, 堀野琢次, 宮越琴理, 江角暁太郎, 林海叶, 高橋穂華

木のクッションは過去にNID木匠塾で試作されていたが、実用までには至
っていませんでした。そんな木のクッションを、ご高齢の方でも快適に
座れる座面にするため、シンプルなベンチに取り入れることになりました。
薄い板を重ねることで、座ると歪む仕組みになっています。

〈制作手順〉

- ①カンナで板の厚みを調節。
- ②スライドソーで板の長さを調節。
- ③板を繋げる紐を通す穴を開ける。
- ④虫の侵入を防ぐため、木の板の間に
スポンジを入れる。スポンジはレーザー
でカットし、大きさを調節。



スポンジを綺麗に切断することや板に綺
麗な穴を開けることに苦戦。完成後は座
り心地を試しました。

2/20-2/22 制作in京都市立大学木工室

参加者：大塚彩花(あやか),中村桜誓(さちか),澤井青海(あみ),堀野琢次(たくじ),宮越琴理(ことり),
江角暁太朗(えすみ),林海叶(かいと),高橋穂華(ほのか)

いよいよ制作開始!

3つのチームに分かれて作業します。

六角形椅子をつくる班、シンプルなベンチの木のクッション部分をつくる班、シンプルなベンチのフレーム部分を作る班の3つに分かれて制作しました。

※途中から入り混じっています。

シンプルなベンチの

木のクッション部分チーム

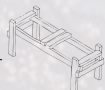
担当者：たくじ,ことり,ほのか



シンプルなベンチの

フレーム部分チーム

担当者：さちか,えすみ



六角形型イスチーム

担当者：あやか,あみ,かいと



長持ちするように、
自然塗料の防腐剤を
塗っていくよ。

2/20 (一日目)

けがき

たくじ,ことり,ほのか

切断

たくじ,えすみ



塗装

さちか,ことり,ほのか



けがき

あやか,あみ,かいと



六角形型イスチームは、
丁寧に番号を振りながら
けがきました。

切断

あやか,あみ,かいと



けがき

さちか,えすみ

切断

たくじ,えすみ



やすり

かいと

えすみさんとたくじさん
が切断中、かいとさんは
黙々とフレーム部分の
やすりを手伝います。



● 穴あけ

たくじ,ことり,ほのか



紐を通すための
穴を開ける。
試作したから、
きっと上手くできる。

● やすり

あやか,あみ,かいと



削りすぎぬよう
座面部分は
紙やすりで
丁寧に。

二日目
すべての塗装が
完了したよ！

● 塗装

あやか,さちか,あみ,えすみ,かいと



● 塗装

さちか,えすみ

手を汚しながら、
うすーく
塗っていく。
早く乾き
ますように！

◆ 平田鈴さんとお茶会

美山木匠塾で活動していた先輩の平田鈴さんの卒業
をお祝いしました。「十二年の軌跡」を見ながら、
思い出を語り合いました。



穴あけ

たくじ,ことり,ほのか



木の板に
スポンジを
貼っていくよ。

組み立て

たくじ,ことり,ほのか



けがき

さちか,えすみ

90°を意識して
ビス穴のけがきを
していくよ。

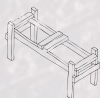
組み立て

さちか,えすみ

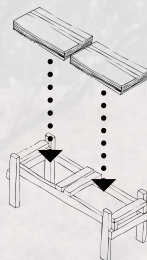


ボンドを塗ってから
ビスを打つと知らず、
組み立て直し。

フレーム完成!



木のクッションと
フレームを
紐で合体させる。



木のクッションと
シンプルなベンチが完成!

組み立て

あやか,あみ,かいと

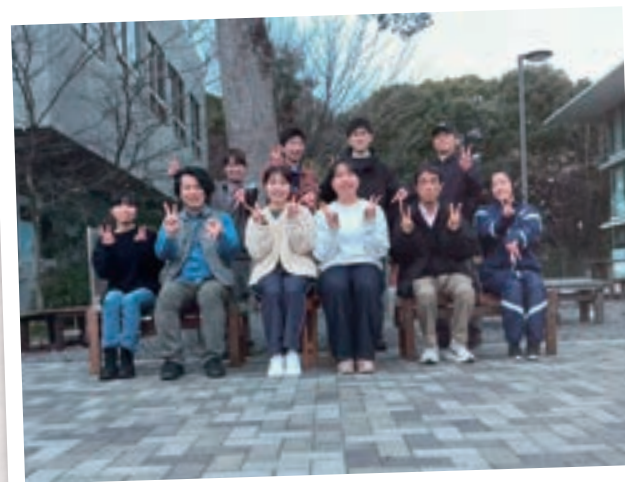


ずれないように
定規を作って
組み立てていくよ。

六角形型イス完成!



シンプルなベンチ
六角形型イスが
完成!



2/23 日本橋の家の見学in大阪難波

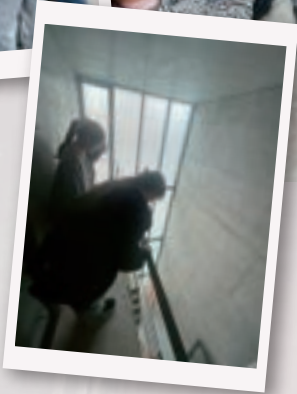
参加者：大塚彩花,中村桜誓,堀野琢次,江角暁太郎,林海叶,高橋穂華

9:15 難波駅前集合

9:30 日本橋の家見学

日本橋の家の施主である金森秀治郎さんからご説明を受けました。一見シンプルかと思いきや、中は複雑な空間で、ギャップに驚きました。

入口から
工夫がいっぱい！



12:00 ごはん

12:30 解散

高ーい！

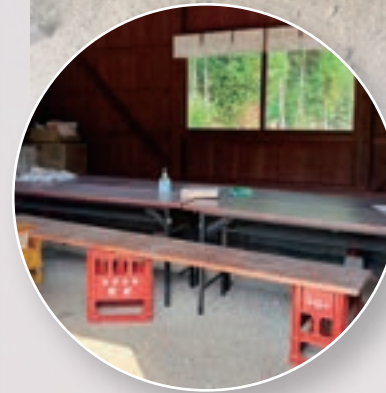
2/27 引き渡しin鶴ヶ岡棚

参加者：大塚彩花,中村桜誓,澤井青海,江角暁太郎

12:08 京都駅発

14:00 鶴ヶ岡棚到着,引き渡し

完成したシンプルなベンチと六角形型イスを現地へ引き渡しました。現地の方々からは「持ち運びやすいね。」といった評価を頂きました。加えて、アドバイスや次回の制作物の提案を頂きました。

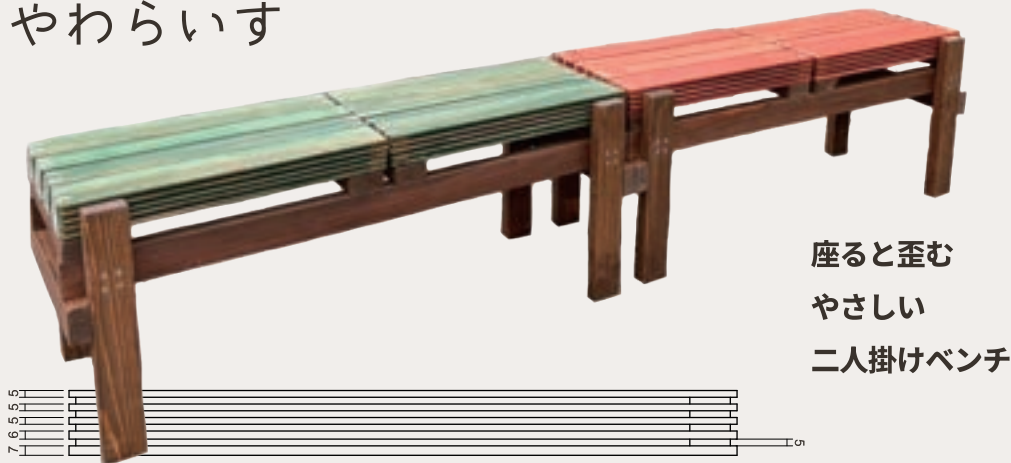


before



名前が決まりました! シンプルなベンチ▶やわらいす(2026.3.27命名)

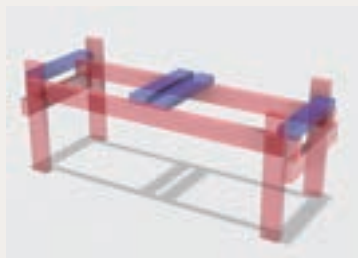
やわらいす



座ると歪む
やさしい
二人掛けベンチ

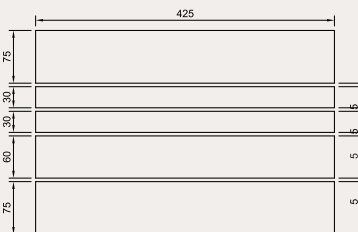
快適に使ってもらえるように

フレーム部分は、軽量で頑丈にするために、木材の場所や向き、ビスの打つ箇所を工夫しました。使用する方々が高齢なため、足に引っかかりにくい設計にしました。また、座ったときに痛みと疲れがでにくいようにと、座ると歪む木のクッションを取り入れました。



工夫した色選び

色は、フレーム部分は、小屋の雰囲気に合わせてためウォルナットに。座面は、片方は小屋のイスの雰囲気に合わせてマホガニ、もう片方は小屋をおしゃれにするためグリーンにしました。色を分けることに不安がありましたが、木質感を感じられたり、六角形の椅子と色を同じにしたこともあり、これしかないと思うくらい上出来なものに仕上がりました。 by Esumi Kotaro



六角形型イス▶はにかむイス(2026.3.17命名)

はにかむイス

自由に形態を
カスタマイズできる
一人掛けスツール



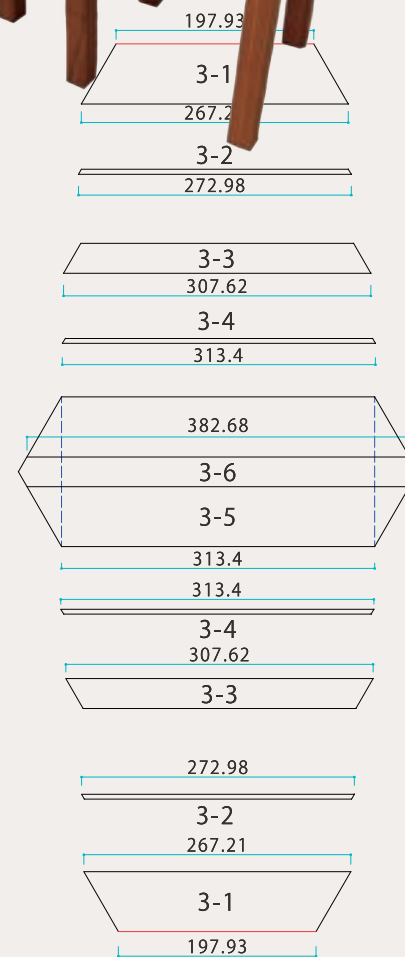
なぜ六角形?

六角形型の一人用スツール。
軽量を意識したので、持ち運びも容易です。
座面に六角形を採用した理由は、美山木匠塾の歴代作品に多く採用されていることと、はにかむ形状のように組み合わせ、自由に形態を変更できることです。初めは座面を丸型で考えていましたが、制作工程を考えた時に曲線のカットが難しいと判断して、六角形型に変更しました。

美しいデザインにするための工夫

座面のパーツ同士の固定は、外から見えないように側面からビスで固定するという方法を取りました。そのため、外側からビスが見えない美しい仕上がりになりました。

by Sawai ami



コメント、総括

大塚 彩花
Otsuka Ayaka

京都府立大学
環境科学部 / 環境デザイン学科

今年度は、例年とは異なる流れでの活動となりました。昨年度の制作物の続きから始まり、次なる活動地域が決まるまでは自由制作を行うなど、模索しながらのスタートでしたが、先生方や仲間のおかげで乗り越えることができました。鶴ヶ岡棚での活動が決まってからは、限られた日程の中で計画通りに進める難しさに直面しましたが、最終的に4脚のベンチとイスを無事に完成させることができ、心から嬉しく、安心しています。来年度は3年生として活動を支える存在になれるよう努めたいと思います。

中村 桜誓
Nakamura Sachika

長岡造形大学
造形学部 / デザイン学科

デザイン学科なため、模型作りや木取り図の制作は苦戦しました。しかし木材や建築分野の知識を得られたので楽しかったです。有り難いことに、鶴ヶ岡棚から依頼をいただき、美山木匠塾がまた新たなスタートを切れたので、新しい地域でも木材を通じた交流を楽しみたいと思います。ベンチとイスが地域の方々がよりリラックスできるきっかけとなれば嬉しいです。

澤井 青海
Sawai Ami

京都府立大学
環境科学部 / 環境デザイン学科

2025年4月から美山木匠塾に参加しました。参加することを入学前から考えていたため、加入時とてもワクワクしていたことを今でも覚えています。今年度は活動地域の変更があり、今後どう活動していくか不明な状態が続いた時期もありました。ですが、無事に鶴ヶ岡棚で、ベンチとイスの制作を行うことができ本当によかったです。制作に向けた準備で、初めて自分でCADを使って図面を書いたり、みんなでプレゼン資料を作ったりしました。制作も普段使わない工具を使い、協力して取り組めました。準備してきたものが実際にものとして出来上がった時は、非常に嬉しかったです。美山木匠塾を通して、新たなことに挑戦し、新たな視点を得られた1年だったと思います。本当にありがとうございました。

堀野 琢次
Horino Takuji

長岡造形大学
造形学部 / 建築・環境デザイン学科

最初は実際に使ってもらおう相手がいる状況を実感出来ていませんでした。しかし、実際に現地に伺って交流するという新しい体験が学びとなって少しずつ意識し始めています。また、学生とも交流しながら、ベンチを完成させることが出来た時の喜びはとても大きな物でした。

宮越 琴理
Miyakoshi Kotori

長岡造形大学
造形学部 / 美術工芸学科

初めてのことで上なくいけないこともありましたが、最終的に可愛い作品になってよかったです。デザインから自分たちで考案し、計画を立ててきたものが実際に形になるという貴重な体験ができました。今回の活動に関わってくださった全ての方々ありがとうございました。

江角 昉太郎

Esumi Kotaro

長岡造形大学

造形学部 / デザイン学科

私は後期のベンチの制作から参加しました。こういった制作は初めてだったことに加え、材料やサイズ感に指定があったのでより制作の難しさを感じました。普段共同でモノを制作したり意見交流をする場面は少ないので、ベンチの制作で共同作業を楽しくできたのは嬉しかったです。デザイン科である私にとって、将来関わるかもしれない椅子、家具を今回制作できたことはとても良い経験になりました。このような経験の場を設けてくださった美山木匠塾や鶴ヶ岡棚の方々には感謝しています。ありがとうございました。

林 海叶

Hayashi Kaito

長岡造形大学

造形学部 / 建築・環境デザイン学科

美山木匠塾の活動には今年度の中旬から参加したので実際に美山へ訪れる機会はありませんでしたが、チームのみんなが実際に現地で調査したことを聞きながら設置場に似合う椅子にしようとするみんなのサポートができたので良い経験を味わえました。次は現地に行き感じたことから活動をしたいです！

高橋 穂華

Takahashi Honoka

長岡造形大学

造形学部 / 建築・環境デザイン学科

今回初めて美山木匠塾の活動に参加させていただきました。サークルの仲間と一つのものを作り上げることで、地域の方々に寄り添った物作り、自分の学びを活かして考え制作する経験、どれも新鮮でとても楽しい時間でした。活動を支えてくださったすべての皆さま、本当にありがとうございました。

羽原 康成

Habara Yasunari

長岡造形大学・准教授

美山木匠塾・塾長

転換期となった2025年度は、学生が主体的かつ柔軟に活動を継続し、次の展開につなげる年度となりました。大野の活動は、5月の制作物の設置で一区切りとなり、活動地が定まらない時期が約5ヶ月続きました。その間、「12年の軌跡」や「木匠塾だより」を発行し、これまでの実践を地域住民に見える形に整理しました。新たな活動地の棚では、地域交流から要望内容の理解を深め、制作に生かしました。両大学の合作アイテムは今後の課題として残ったものの、大きな変化に柔軟に対応する学生たちの成長が見られた年度となりました。

松原 斎樹

Matsubara Naoki

京都府立大学・特任教授

美山木匠塾・特別顧問

今年度は10年以上続いた活動のフィールドを変更する初めての経験でした。不安もありましたが、住民のみなさんとよいコミュニケーションがとれて、作品を完成させてお渡しすることができました。また、遠方にある2大学のコラボという困難がありましたが、オンライン会議と対面の活動を組み合わせることで目標達成しました。貴重な活動の経験になったことと思います。

■美山木匠塾・参加者

〈京都府立大学〉
大塚彩花（二年生）代表幹事
澤井青海（一年生）

〈長岡造形大学〉
中村桜誓（二年生）報告書編集
堀野琢次（一年生）
宮越琴理（一年生）
江角昉太郎（一年生）
林海叶（一年生）
高橋穂華（一年生）

■塾長

長岡造形大学 羽原 康成 准教授

■顧問

京都府立大学 森田 一弥 准教授

■特別顧問

京都府立大学 松原 斎樹 特任教授
ものづくり大学 戸田 都生男 教授

■協賛

南丹市美山支所
南丹市美山町大野
南丹市美山町鶴ヶ岡棚
総合資格学院 京都校

■発行日

2026年5月18日

■発行元

美山木匠塾 事務局

■発行

羽原康成
〒940-2108
新潟県長岡市千秋4丁目197
公立大学法人長岡造形大学
羽原研究室
TEL 090-9887-0852